



「目で学ぶ仏教、 声で学ぶ仏教」

輪番 楠 活也



近頃、お経の声が出なくなってきたなと思うことがあります。ある日、地元長崎で、兄と内陣に座ってお勤めをさせてもらいました。お勤めの後、姪のさゆちゃんがやってきて言いました。

「かっちゃん（私のあだ名）声ちっちゃかね。お父さんの声しか聞こえなかったよ。」

私の声もそんなに小さい方ではないと思うのですが、兄の低く太いお経の声に、私の声は、かき消されてしまっていたのです。兄は、毎日毎日檀家さんの家を回り 1 日に何度もお勤めをします。その積み重ねで、太くボリュームのある声が出るようになったのでしょう。その反面、私は、1 日に 1、2 度お勤めするだけです。しかも、サンデーサービスでは、性能のいいマイクを使ってお勤めをすることもありません。マイクを使うと簡単に声が響くので、大きな声を出す必要がありません。その結果、マイクに合わせた声になり、マイクなしでは声が響かないようになってしまいます。

声に出すというのは、大切なことです。私たち浄土真宗の門徒は、“南無阿弥陀仏”とお念仏を声に出して称えます。蓮如上人は、末代無知の章というお手紙をお書きになられました。

「かくのごとく決定してのうへには、ねてもさめてもいのちのあらんかぎり、称名念仏すべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。」

（このように信心を決定した後は、寝てもさめても、命のあるかぎり、は仏恩報謝の念仏をすべきです。）

浄土真宗の門徒は、阿弥陀仏の教えを生きる中心として常に心に持ち、いつでもどこでも南無阿弥陀仏と声に出して称えます。それが、往生浄土、悟りへの道です。

私たちが、文字や文章を“目”で読むとき、自然とその意味はなんなのかを“頭”で考えようとします。また、文字や文章を“声”に出すときは、その声に出した音を“耳”で聞き、“心”で感じようとします。仏教を学ぶときには、経典を“目”

12 月の予定

- 3日 10 時 成道会法要
10 時 45 分 日本語プログラム
11 時 45 分 ポットラック
- 10日 10 時 家族法要
日本語法要なし
11 時 別院総会
- 17日 10 時 家族法要
10 時 45 分 日本語プログラム
- 24日 10 時 家族法要
10 時 45 分 日本語プログラム
- 25日 別院・事務所休み
- 31日 10 時 家族法要
10 時 45 分 日本語プログラム
ゲームスクール無し
7 時 除夜法要

で読んで、その一つ一つの言葉の意味がなんなのか、そこに込められた深い意味はなんなのかを理解することも大切です。しかし、仏教では、昔から、経典や南無阿弥陀仏を“声”に出して称えることも続けられてきました。それは、経典や南無阿弥陀仏を声に出して称えることで、仏教とはなにか、阿弥陀仏の慈悲とはなにかを“心”で感じるためではないでしょうか。“頭”で理解する仏教と“心”で感じる仏教が溶け合って一つとなったとき、真の意味で仏教が自分の生きる道となったと言えるのかもしれませんが。

目と頭を使った学び方は、私は得意ではないようです。すぐに、目が閉じてしまいます。ですので、せめて、声に出して称えることは、一生懸命がんばろうと思っています。朝、お寺へ行くと、私は本堂へ行ってお勤めをし、掃除をします。最近、兄に負けないように大きい声でお勤めするように心がけています。ですので、毎朝、お勤めが終わったら喉がからからになります。“お経は明るく元気にはっきりと！”それが私のモットーです。朝一番に大きい声でお勤めをすると清々しい気持ちになります。みなさんもためしてみてください。それではみなさん元気な声で“南無阿弥陀仏” 合掌



会長挨拶

星野アラン

今年も終わりに近づきましたがお寺は多くの活動で満ち溢れています。先月はセンター・フォー・ブディスト・エジュケーションと共催で「レインボー・オブ・インフィニット・ライト」（虹のような無限の光？）というテーマのセミナーを開き90名以上の参加者が出席しました。多くの方々はお寺の会員ではなく仏教徒としてのLGBTQへの寛容さや理解に取り組みました。このセミナーについては詳しい報告があります。（英語面）このセミナーを開くことは積極的な仏教徒として地域にお寺の存在と認識を高めるという努力の一部です。これが今のそして将来のメンバーへのつながりとなります。

施設に関する話題としましては2件隣の大きい家を改築中です、ここには楠輪番、綾乃さん、結也くんが来年に引っ越される予定です。この原稿を書いている時点では家の中が全部取り壊され、電気の配線、配管、など壁を入れる前にすることの準備が終わったところです。13万ドルから15万ドルの予算です。これはとても高い工事ですが古い家を倉庫として使っていたより現代的な家になり1ミリオンの価値になります。シアトルの家賃が上がっているのでも輪番に家かアパートを借りるのには3千ドルはかかります、この計算では4年で収支が合うということです。

財政問題としましては幾つかのチェンジがありまして、会計士と財務のチームは今秋とても忙しくしています。財政管理の係りでは資金管理を積極的管理から受動的管理に変えました、これはマネージする会社に払う手数料が大まかにセーブできます、サーモン・ディナーのファンドレイズからの儲けに近い額です。またお寺の会計年度を11月30日から12月31日に変えることです。これはカレンダーに沿っての年度で、ほとんどの団体がこの制度でレポートしてしまして、今までのような混乱を避けるためです。このために別院とその所属の団体は2017年度の会計報告を13ヶ月としそのような説明をレポートに記します。その他のチェンジは年末に送られるご寄付などの報告書を別院とその所属の団体を一緒にしてお送りします。このチェンジを可能にしてくれたクレッグ中野とインターンだったマシュー・リーに感謝します。

この会計年度のチェンジと共にお寺の年度末総会の会議も変わります。例年では11月30日に年度が終わり会計の係りは報告をまとめ12月中旬に会議でした。これは大変な仕事で銀行からの口座明細書が12月第2週に来ます。今年の12月10日の総会では会員皆様にお寺の法則を変える案に賛同して頂きたいと思っております。それは総会を「12月」を変え「年度末から4-6週間後に開く」という案です。この案が承認されますと次の総会は1月28日となり2017年度の報告があります。まだ総会のお知らせと理事選出

の投票用紙、この法則の修正案をお受け取りでなかったら近々に送られてきます。よく検討されもし質問があれば chairperson@seattlebetsuin.com までメールしてください。12月の総会で詳細を説明します。

2年にわたり理事会会長として勤められたのは大変光栄でした。この後もボランティアとしてまた支援者としてここシアトル地域に仏教を広める努力をする先生、アシスタントを支援します。今後のご支援をお願いするとともにピースなホリデー・シーズンをまたハッピーなボーディー・デイで始めましょう。

別院新年会

別院新年会は1月7日、12時より3時に開催されます。大人と子供の弁当チケットが日曜日に玄関ホールで12月17日まで売り出されています、事務所に連絡されても結構です。大人の弁当は15ドル、維持会メンバー80歳以上の方は無料です。廊下のサインアップ・ボードか別院事務所まで連絡をしてください。12月24日以降のオーダーは20ドルになります。子供の弁当は日本食ではありませんが7ドルです。5歳以下のダーマスクールの生徒は無料です（チケットが必要です）。全てのセールは現金かチェックでお支払いください。



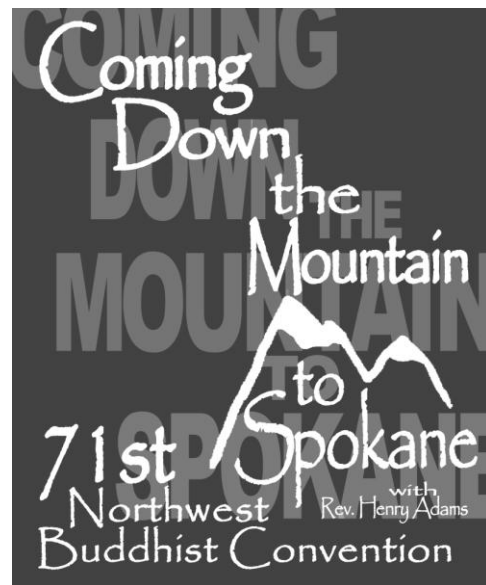
毎週水曜日 10時 朝のお勤め
毎月16日 10時 親鸞聖人お命日法要
皆様おまいりください。

12月の各ホームでの法要
7日 1時半 日系マナー法要
12日 10時半 成道会 敬老ホーム
21日 1時半 日系マナー法要
26日 10時半 敬老ホーム法要
28日 11時 メリル・ガーデン法要

往生礼賛と雅楽のウォークショップ

12月9日(土) 9時-12時 タコマ仏教会にて
楠輪番、柿原先生およびシアトル雅楽グループ主催

第71回 西北部仏教徒大会 主催 スポーケーン仏教会
2018年2月16-18日 Hotel RL at The Park スポーケーン
スピーカー：ヘンリー・アダムス師 サン・マテオ仏教会
梅津総長のウォークショップ、アダムス先生の基調講演
12のウォークショップから選べます、日本語もあります。
申し込み：大人125ドル 学生90ドル 子供40-50ドル
申し込み締め切り2018年1月13日 オンライン申し込み
spokanebuddhisttemple.org
ホテル：109ドル シングル・ダブル 119ドル 3・4人
スポーケーンでは同日に3件の大会が開かれていますのでホテルの予約は早い目にしてください。
電話 1-800-RED-LION オンライン予約 Redlion.com
グループコード NORT0274
各団体からも申し込みます。



ボーディー・デイ・ポットラック

12月3日は成道会法要でそのごポットラック・ランチがあります。みなさん参加してこの嬉しい日をお祝いしましょう。なにか一皿持ってきてください。ランチは11時45分よりジムで。

婦人会便り

寒くなりましたがお元気でお過ごしでしょうか。

総会・慰労会: 11月19日。婦人会の規約(By-Laws)を新しくタイプし直し、文章の訂正、現在の言い方などにかえる提案に対し、出席会員一同賛同し、承認されました。詳しくはコピーが各会員に送られていますので確認してください。また、会議後に会員への感謝と慰労のお茶会がありました。40名ほどが出席し楽しいひと時をすごしました。計画された副会長のジェニーと加奈子さんに感謝します。(写真上)



オライオン・ユースセンターでの夕食のサービスに11月17日に婦人会会員とデニスでご奉仕しました。(写真左)

婦人会先亡者追悼法要は10月29日に130名の出席者を迎えしめやかに執り行われました。楠輪番のご法話とご文章「白骨の章」を拝読されとても心に響く時間でした。ご出席とご厚志ありがとうございました。

年末の婦人会よりの寄付は5団体が理事会で選ばれました。「法輪」、ACRS、敬老ノース・ウェスト、デニース・ルーイ、ノース・ウェスト真仏教徒グラント。



報恩講法要では川原律子夫人をリーダーにぜんざいと煮ごめをつくりおまいの会員にサーブしとても喜ばれました。お料理・クリーンアップのお手伝いされた方々、ありがとうございました。(写真左)

11月14日に22名がレストランに集まり真野万里子夫人の百歳の誕生会をひらきました。皆でお祝いできてとても素敵な時間をもてました。真野夫人はとてもお元気ですので来年もまた集まりましょう。(写真右)



ご寄付: ありがとうございました。

Ed and Joyce Kato in memory of Gayle Sordetto
Eshinniko/Kakushinniko 2017 Service:

Yuki Arinobu, Marian Asaba, Lauren Asaba, Janet Baba, Patricia Bobrow, Mae Deguchi, Yasuko Desaki, Aiko Fujii, Suzanne Fujinari, Sue Fujino, Florence Fujita, Miyuki Hanada, Peggy Hanada, Setsuko Harada, Kathy Hasegawa, Cynthia Hinds, Jamie Huh, Toshiko Isomura, Shizue Kaku, Miyoko Kaneta, Kanako Kashima, Mary Katayama, Masako Kawamoto, Taka Kogita, Yoshie Kosai, Masako Kubo, Lisa Kumasaka-Mitchell, Carolyn Kunihiro, Daisy Kuramoto, Kinue Kuwahara, Haruko Mamiya, Irene Mano, Mariko Mano, Julie Mayeda, Sheri Mizumori, Karen Morikubo, Kemi Nakabayashi, Judith Nakamura, Joan Nakano, Junko Nakano, Leanne Nishi-Wong, Mabel Nishizaki, Marlene Okada, Janie Okawa, Sunkie Oye, Shirley Shimada, Etsu Shimbo, Darlene Shimizu, Kazumi Shimizu, Fran Shintaku, Anna Tahara, Kuniko Takamura, Naomi Takemura, Frances Tamekuni, Rikuko Tanaka, Martha Taniguchi, Fumie Taniguchi, Terrie Tanino, Miyoko Tazuma, Kayoko Terada, Suzuko Terada, Mayumi Terada, Nina Tomita-Kato, Michiko Toyoshima, Machiko Wada, Susie Yamane, Fujie Yamasaki, Sumie Yokota, Charlene Yoritsune, Fuyo Yoshida, Tomiko Zumoto, Tina Zumoto-Ko



